

---

## J-STAGE セミナー開催のご案内

「オープンサイエンスの進展による研究データの共有・利活用の取り組み：  
研究データ公開の現状と可能性ーfigshare、バイオインフォマティクス、  
人文学での取り組みー」

---

昨今、学術研究によって得られる研究データの効果的な活用を目指し公開が進んでいます。2022年度のJ-STAGE セミナーは年間テーマを「オープンサイエンスの進展による研究データの共有・利活用の取り組み」と題し、FAIR原則、データプラットフォームの運営やデータポリシーの策定といった研究データの共有・利活用の取り組みの事例をご紹介します。

第1回セミナーは、サブテーマを「研究データ公開の現状と可能性ーfigshare、バイオインフォマティクス、人文学での取り組みー」としオンラインで開催します。オープンサイエンス推進の下、研究者の成果の共有に使われるリポジトリ figshare の活用例の他、バイオインフォマティクス分野や人文学での事例をご紹介します。

### 【日時（予定）】

2022年10月4日(火) 13:00～15:30（開場 12:30）

### 【開催形態】

Zoomによるオンラインセミナー

※参加には、ZoomアプリまたはZoomアカウントへのサインインが必要です。

### 【プログラム（予定）】

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:00       | 開会挨拶   |
| 13:05～14:05 | The State of Open Data and the Opportunities for Society Publishers<br>ーMark Hahnel 氏 (figshare 社 CEO) |
| 14:05～14:45 | バイオインフォマティクス分野における研究データを取り巻く現状<br>ー岩崎渉氏 (東京大学)   |
| 14:45～15:25 | データ駆動型人文学と人文学ビッグデータ：ROIS-DS CODH での<br>データ利活用事例<br>ー北本朝展氏 (国立情報学研究所)                                   |
| 15:25       | 閉会挨拶   |

※プログラムの内容・時間等は予定であり、変更される可能性があります。

**【対象】**

J-STAGE 利用機関、研究者、ジャーナル出版に関心の高い方（参加無料）

**【お申し込み】**

下記の申込フォーム（外部サイト）よりお申し込みください。

お申し込みが完了すると申込受付メールが送信されます。

開催当日、お時間になりましたら同メールに記載の URL からセミナーへご参加ください。

<https://form.jst.go.jp/enquetes/j-stage128>

※定員に達し次第締め切ります。

※J-STAGE 利用学協会のお申し込みを優先させていただく場合がございます。

**【Zoom オンラインセミナーへのご参加につきまして】**

以下の事項につきまして予めご理解いただけますようお願いいたします。

- ・本セミナーへは以下のいずれかの方法でご参加ください。
  - Zoom アプリからの参加：事前に Zoom アプリをインストールする必要があります  
Zoom アプリのダウンロード → <https://zoom.us/download>
  - ブラウザからの参加：事前に Zoom アカウントを取得（＝サインアップ）し、参加時にサインインする必要があります  
Zoom へのサインアップ → <https://zoom.us/signup>
- ・Zoom のミーティングテストページ（外部サイト） <https://zoom.us/test> 等による視聴端末・ネットワーク設定の事前確認をお勧めします。
- ・当日は安定した通信環境にてご参加ください。
- ・聴講者の通信環境および視聴端末・ネットワーク設定等により当日視聴できない場合、JST は対応致しかねます。また、Zoom の利用に関して聴講者にいかなる不都合が生じた場合も、JST は一切責任を負いません。
- ・本セミナーでは、聴講者のビデオはオフ、音声はミュートでの参加となります。

お問い合わせ

□JST（科学技術振興機構）情報基盤事業部 J-STAGE 担当

□東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

□[event@jstage.jst.go.jp](mailto:event@jstage.jst.go.jp)

□Twitter: @jstage\_ej